



京丹後市教育委員会事務局
学校教育課



今月の話題

3月17日から25日まで京丹後市中学生海外派遣事業として京丹後市立の中学2年生9人がニュージーランドへ行きました。その9人はどんな一週間を過ごしたのか、1日ずつのスケジュールでまとめました。

派遣生徒

寺田 若保(峰山中) 平井 未憂(峰山中) 大江 千尋(大宮中) 田中 美織(大宮中)
地部 蒼生(網野中) 真柴 里奈(網野中) 大江 光輝(丹後中) 笠井 麻菜美(弥栄中)
松本 桜(久美浜中)

1日目 出発

蒼生さん：「出発する前、今から起こることすべてが初めてのことばかり。不安は一切無く、ずっとわくわくした気持ちでいっぱいだった。」

9人はバスで15:15に峰山を出て、21:00に関西空港で大きな国際線の飛行機に乗りました。多くのメンバーにとって、初めての都会、初めての空港、そして初めての出国でした。

2日目 NZに到着

里奈さん：「(私の英語が) なかなか伝わらなくてすごくあせった。でも私も店員さんもあきらめずに会話を続けて、なんとか頼めました。「上の」と「横の」を伝えるときに、私はジェスチャーを使いました。動作がつくと分かりやすくなるということがよくわかりました。」

10時間半ぐらゐの移動の後、ニュージーランドに着きました。赤道を渡り、南半球に入ると、季節が逆になるので、ニュージーランドの3月から6月は秋です。夏から秋への変化の最中にあるニュージーランドはまだ暖かくて過ごしやすいです。新しい季節に慣れながら荷物を受け取り、入国検査を受け、昼ご飯を買いに行くのもすべて英語で！

好奇：「こう-き」
めずらしいことや
未知のことに対して
強くきょうみを持つこと

平成29年4月 Vol. 7

編集者：ジョセフ・オーエン

好奇新聞カラー版は京丹後市ホームページに掲載してありますので、ぜひ検索してみてください！

到着日にまた飛行機に乗り、目的地ニュープリマスにたどり着きました。空港で、ホームステイで6日間一緒に生活するホストファミリーに会いました。

3日目 ホストファミリー

千尋さん：「晩ご飯を買いにお店へ！めっちゃでかい！さすが！」

それぞれのホストファミリーと過ごし、おいしいラム肉、フィッシュアンドチップス、キャラメル粒が入ったホーキー・ポークーというアイスクリームなどを食べたり、自然に恵まれたニュープリマスを見物しました。

美織さん：「日没までにフィッシュアンドチップスを買いに行って、ビーチで食べて、sunsetを見ました。美しくてめっちゃ感動！目に焼き付けておきました。」

4日目 NZの学校へ通学

スポーツウッドカレッジという学校に通い始め、いっしょに授業を受けるバディーと会い、すぐたくさんの友達が作れました。日本語、数学、英語、演劇、地理など、色々な授業を体験し、日本の学校とまったく違う雰囲気を感じました。ところで、ニュージーランドの学校では、先生が教室に移動するのではなく、生徒たちが移動します。

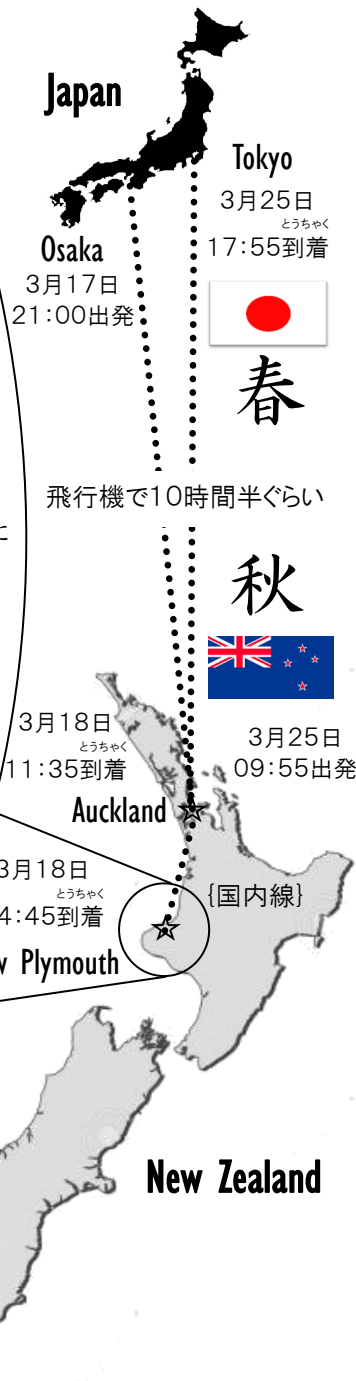
美織さん：「NZの子もJapanese勉強してるんだね。そこそこできた！みんな日本よりもfriendly！」



全員NZに到着



NZの生徒との授業



じゆぎよう
5日目 いろいろな授業を体験

こうき じゆぎよう じゆぎよう
光輝くん：「最初の授業は音楽だった。授業ではギターをひかせてもらいました。日本の中学校ではギターはあまりひかないので、よい体験ができた。」

じゆぎよう にちじようてき
授業を受け、日常的に英語を使うことになじみ始めたようです。スマートフォンやノートパソコンを使い、調べものをする生徒もいました。体育の授業でNZ対JPNのホッケーの試合をしました。（日本が勝ちました！）

みゆ な
未憂さん：「周りの人がみんな英語をしゃべっていることに少し慣れてきた」

さんさく
6日目 ニュープリマスで散策

ふじさん
今日は富士山とそっくりなタラナキ山に登る予定でしたが、雨のため、ふもとのビジターセンターでニュージーランドの地理と歴史を学びました。それから、観光スポットを何ヶ所か訪ね、午後に市長と会いました。彼はとても若くて気さくな人で、生徒たちに大きな首飾りをかけてくださって「私より似合いますね！」と褒めてくれました。

7日目 学校の「カーニバル」

わかほ おど
若保さん：「Sports dayはゾンビになったり踊ったり、日本とまったくちがう自由な感じを味わえてとても嬉しかったです。」

日本の運動会と文化祭の両面を持つ「カーニバルデイ」があり、参加をしました。学校の先生たちまで本格的にコスプレをし、学校全体が4つの色に分かれて活気で溢れていました。ビニールシートの上を人が順番に滑る「ウォーターライダー」が大人気でした。

あおい
蒼生さん：「日本みたいに「競う」んじゃなくて、みんなで楽しくいろいろなゲームをやるっていう感じで雰囲気がいいなど思った。」

翌日にはオークランドへ行くので夜にお別れパーティーを開きました。浴衣を着てホストファミリーとスポーツウッドのバディーたちの前で英語と日本語で3つの曲を歌い、折り紙を教え、最後に一人ひとり英語のスピーチで1週間の感謝の気持ちを発表しました。うれしさとさびしさを感じた夜でした。



光輝くんとバディー
カーティスくん



お別れのパーティー



市長と面会



オークランド市



カーニバルデイ

さんさく
8日目オークランドで散策

まなみ
麻菜美さん：「スカイタワーは51階と60階から360度景色を見れた。日本と景色がちがって良い経験をさせてもらっていると実感した。」

ホストファミリーと別れて、国内線の飛行機に乗ってオークランドへ。オークランドはニュージーランドで一番大きなまちです。そこで、ガイドと観光地をぐるっと回り、和食の店で鉄板焼きを食べ、「スカイタワー」に上り、市立美術館を見学し、空港のとなりのホテルにチェックインしました。

9日目 日本へ

なりた
朝早く起き、オークランド空港で日本行き飛行機に乗り、成田空港を経由し、伊丹空港に着き、バスで京丹後に帰ってきました。

まなみ
麻菜美さん：「空港に行ったら、ついに帰ってしまうんだということを実感した。こんないいところにずっといたいと思った。」

みおり はな
美織さん：「時が経つにつれて、NZから離れていっていると思うと、やっぱり悲しい、寂しい。」

こうき ふだん
光輝くん：「本当にこの1週間のホームステイで普段の生活では絶対にできないような体験や、家族との交流ができた。」

桜さん：「『ニュージーランドにまた行きたい』というのは9人の夢になっているのではないかと思います。」

わかほ きょうみ
若保さん：「コミュニケーションのとり方、世界への興味、世界への広さが知れました。」

楽しいことがいっぱいありながら、難しいことも十分ありました。この9人が自ら何にでも挑戦し、積極的に人と話したり、行事に参加したり、とても有意義な経験ができました。派遣生徒は互いを手伝うことで友情が強まったと思います。ホームステイ先など、1人で問題を解決しないといけない時も、言葉や不慣れな環境にも関わらず全員が最後まで頑張り、海外派遣は大成功となりました。